



- 子ども同士が育ちあう保育
- 一人一人がのびやかに育つ保育
- 一人一人を尊重する保育

子ども主体の保育が大切だと言われている昨今、「子ども主体」を考える時に「主体」という概念は、何を表しているのでしょうか。

「主体」というのは、一人の人間が（子どもであれ、大人であれ）「私」として生きる面と、「私たち」として生きる面の両方があるバランスをもって発揮する姿を指していると考えます。そして、「主体として受け止める」時に鍵を握るのが、「その子の思いを受け止める」「その子の存在を受け止める」という大人の関わり（働き）です。子どもたちの様子を見てみると、みな大人に自分を見てもらおうと思って一生懸命であることを感じます。「見て、見て」「こっち、来て」という、子どもの要求はほとんどの場合、自分のことを認めてほしいという要求です。幼い子どもは、自分一人では自分になれないようで、自分のことをしっかりと映し返してくれる大人を求めています。そして、自分のことが認められたと感じると、うれしく、目が輝き、心が充実して、次の活動に移っていくことができます。

「自分の存在が認められる」ということは、言い方を変えれば、自分が周りの大人から大事に思われているということです。「あなたが大事」という大人の思いが子どもの心にしみ込んで、「自分が大事」感覚が生まれ、そのように自分を大事に思ってくれる大人を信頼するようになり、今度は子どもがその大人を「あなたが大事」と思うようになり、それが周囲の友だちに広がって・・・

この流れが主体としての心の育ちの基本と言われています。その流れがつながっていくように子どもたちを受け止めていきたいと思っています。



基本保育時間は、**7:00~19:00**です。

7:00~7:30、
18:30~19:00
の利用の場合は、
お知らせください。



12月のおしらせ

今年のクリスマス会は、12月24日（土）に行います。モニカ先生にスウェーデンのクリスマスの過ごし方を教えてもらいながら、準備を進めています。先日は、クリスマスを待っているしるしのリースを作り持ち帰りました。お家で飾っていただけでしょうか？クリスマスまでの毎週日曜日クランツのろうそくに1本ずつ火を灯します。保育室では、毎週月曜日に火を灯して24日までを待ちたいと思っています。アドベントカレンダーとなるツリーも作り毎日一つずつ飾りを作って飾っています。少しずつお部屋も飾っていきたいと思います。ツリーも立てます。もちろんクッキーの飾りも作る予定です。クリスマス会では例年通り、保護者の方と子どもたちとのプレゼント交換をします。保護者の方には先日懇談会にてお知らせしたリュックを作っていたきその中にお菓子を入れてご用意ください。時間などの詳細は後日お知らせいたします。

